

## 第 8 章 高専に対する卒業生の要望

### 8.1 はじめに

本章では、専攻科修了生アンケートにおける質問項目 5 - 7 ~ 5 - 9 と本科卒業生アンケートにおける質問項目 4 - 7 ~ 4 - 8 に対する回答をまとめる。質問の内容は次のとおりである。

#### 専攻科修了生アンケート

##### 質問項目

問 5 - 7 これまでの、そしてこれからの高専専攻科制度について、特に改善した方がいい点や要望など、専攻科修了生としてのご意見をお聞かせください。

問 5 - 8 高専に望むことを以下の項目ごとに書いて下さい。

- a. 後輩へのアドバイス
- b. 教育システム・目標
- c. カリキュラム
- d. 体制，環境
- e. 教員に望むこと
- f. その他（就職等）

問 5 - 9 夢や悩みについて書いて下さい。

#### 本科卒業生アンケート

##### 質問項目

問 4 - 7 高専に望むことを以下の項目ごとに書いて下さい。

- a. 後輩へのアドバイス
- b. 教育システム・目標
- c. カリキュラム
- d. 体制，環境
- e. 教員に望むこと
- f. その他（就職等）

問 4 - 8 夢や悩みについて書いて下さい。

以下では、まず専攻科制度に関する専攻科修了生の意見をまとめる。次に、高専に望むことについて、項目ごとに専攻科修了生、本科卒業生の意見をまとめる。最後に、専攻科修了生、本科卒業生の夢や悩みについてまとめる。なお、各質問項目に寄せられた意見はすべてをカテゴリー化し、章末に付録として掲載する。

### 8.2 専攻科制度に関する専攻科修了生の意見

ここでの意見は、「授業の充実」、「システムの改善」、「専攻科 PR の充実」などである。

授業の充実では、特に英語教育や経理・経済などの一般教養の重要性、専門においては設計能力育成の必要性などが述べられている。

システムの改善では、少数ではあるが、特別研究指導に関する改善が要望されている。

専攻科 PR の充実では、社会ではまだまだ高専専攻科の知名度が低いことから、更なる PR が必要であるとの意見が寄せられている。

### 8.3 高専に望むこと

#### a. 後輩へのアドバイス

後輩へのアドバイスは、「しっかり勉強すること」がもっとも多く、具体的には

- ・ 高い専門性、実践力、創造性、プレゼンテーション能力を身につけること
- ・ 基礎学力が重要であること
- ・ 語学力の向上が必要であること
- ・ 資格の取得が重要であること

というものである。また学業面だけではなく、「人間性を磨く」ことが大切であり、

- ・ いろんなことにチャレンジし、経験することが重要であること
- ・ 人とのコミュニケーションが大切であること
- ・ クラブ、学生会等課外活動への積極的参加が意義があること

など、多数寄せられている。その他、「進路選択に関する心構え」として

- ・ 自分のやりたいことを早期に見つけ、目標をもって勉強することが大切であること
- ・ 進学も考えに入れて、進路を決めることが重要であること

という意見が寄せられている。また、「充実した学生生活をおくるための心構え」として

- ・ 目標を明確にもつこと
- ・ 自主性をもって取り組むこと
- ・ 向上心、地道な努力

など有益なアドバイスが多い。また、

- ・ 自信をもって！
- ・ ガンバレ！

など、多数の激励も寄せられている。

#### b. 教育システム・目標について

ここでの意見は、「技術力の向上」、「英語教育」、「資格取得」、「人間教育」、「教育システム全体」にカテゴリー化される。

「技術力の向上」では

- ・ グループワークによる問題解決能力・設計能力の育成
- ・ プレゼンテーション能力の育成
- ・ 専門教育（基礎と最新技術）の充実
- ・ 実践力の育成

などの意見が寄せられている。

「英語教育」については

- ・ 英語のレベルが低いので、もっと力を入れるべき
- ・ 英会話能力の向上に力を入れるべき

など、英語教育の重要性が指摘されている。

「資格取得」では

- ・ 資格取得を授業の目標にする
- ・ 資格取得に対する評価や支援を積極的に行うシステムを
- ・ 技術分野の資格取得の義務付け

など、資格取得の重要性とその目標化や支援体制の提言がなされている。

また、このような技術教育と並行して、「人間教育」の重要性が指摘されている。そこでは、

- ・ 人間性豊かな技術者の育成

- ・ 管理能力，指導力のある人間の育成
  - ・ 倫理観，常識のある人間の育成
  - ・ コミュニケーション能力のある人材の育成
- などが挙げられている。

最後に，「教育システム全体」では

- ・ 5年間一貫教育のメリットを存分に活かすシステムを
  - ・ 「世界に通用する」が実現できているか疑問。具体的な方策の検討と地道な取組みを
  - ・ 興味のわく，考えさせる，理解できる授業システムを
- などの提言とともに，「高専はすばらしい教育機関。今までの方向をさらに発展させてほしい」とのコメントもある。

#### c. カリキュラムについて

カリキュラムについては，「専門教育」の更なる充実と専門教育における「情報処理教育」，「プロジェクトマネジメント教育」，「資格取得教育」の必要性，「社会・実践教育」の重要性，「英語教育・教養教育」の充実などの提言がなされている。主な意見は次のとおりである。

「専門教育」については

- ・ 基礎の修得に重点をおいたカリキュラム
- ・ 実践に重点をおいたカリキュラム
- ・ 機械電気工学科における電気系科目・実験の強化
- ・ 土木建築工学科における建築系科目の強化

などが挙げられている。また，専門教育における「情報処理教育」では

- ・ ソフトウェア，ハードウェア両面の教育の充実
- ・ プロジェクトやシステム作成能力の育成

などが重要であるとの意見がある。この他，少数ではあるが，「プロジェクトマネジメント教育や資格取得教育」の科目についてもその必要性が挙げられている。

また，「社会・実践教育」の重要性を指摘した意見が多数寄せられている。具体的には

- ・ インターンシップ等の職場体験
- ・ 企業技術者やOBによる講演会

などの有用性を述べたものである。

「英語教育・教養教育」の充実に関する提言も多い。そこでは，

- ・ 英語力，英会話能力
- ・ 経営・管理
- ・ 中国語

などの必要性が述べられている。

その他，カリキュラム全般に対する意見として

- ・ 詰め込み過ぎ。余裕をもったカリキュラムを
- ・ 5年間一貫教育の利点を活かした大学とは異なるカリキュラムを
- ・ 土木と建築を分ける。土木と建築のコース選択を早めに
- ・ 授業時間が長い

などが挙げられている。

#### d. 体制，環境について

ここでの意見は，「産官学連携・交流」や「海外留学制度」などの有用性，「人間性教育」の重

要性、「教育環境」の充実に関する要望等に分類される。具体的な意見として

「産官学連携・交流」では

- ・ 他高専，大学との連携や交流を通して教育の幅を広げること
- ・ インターンシップなど，企業との積極的な関わり
- ・ 地域に開かれた環境づくりを

などの有用性が述べられている。また「海外留学制度」などはグローバルな力を養成するのに有効であることが述べられている。「人間性教育」に関しては

- ・ 寮生活の経験が役立ったこと
- ・ 精神面（道徳心・公共心・社会性・礼儀）の充実が重要であること

などの意見がある。

「教育環境」に関しては，

- ・ 授業の充実
- ・ 教室，図書館，実験室等の施設，研究・実験設備等の充実
- ・ 生活指導のあり方
- ・ 通学方法の改善

など，多岐にわたる要望がある一方で，

- ・ 教職員が親身に相談に乗ってくれる
- ・ のびのびとしていて良い
- ・ 教育環境はとても充実している

など，「満足である」という回答も多く寄せられている。

#### e. 教員に望むこと

教員への要望は，「教育全般」，「授業」，「資質・体制」に大別される。

「教育全般」では

- ・ 学生に目を向け，学生を大切にしてほしい
- ・ 学生とのコミュニケーションをもっと密にし，どんどん話しかけてほしい
- ・ メンタル面のケアを十分にしてほしい
- ・ 生活面やマナーの指導をもっとしてほしい

など，学生と積極的に関わり，愛情をもって接してほしいとの要望がほとんどである。

「授業」では

- ・ より実践的な授業
- ・ 技術者としての基礎を十分身につけさせる授業
- ・ わかりやすい，興味のもてる授業
- ・ より新しい専門技術を取り入れた授業

など，教科書に沿った理論的な授業だけではなく，より実践的な授業を多く取り入れ，興味のもてる授業をしてほしいとの意見が多い。

「資質・体制」では

- ・ 研究，教育両面における教員の更なるスキルアップ
- ・ 企業経験者の教員への登用
- ・ 社会性を身につけ，学生の手本となる教員

を望む声が多い。一方で，「先生は良くやっている。現状のまま，誇りと自信をもって頑張ってもらいたい。」との激励も寄せられている。

f. その他（就職等）について

ここでの意見は、「就職指導体制」、「インターンシップ」、「高専の知名度・評価」、「就職に向けての心構え・アドバイス」に分類される。

「就職指導」に関しては、

- ・ 会社の業務内容や将来性などの情報提供
- ・ OB や OG による企業説明や進路相談
- ・ 地元企業への就職斡旋

などの要望がある。これに加えて、企業の内容や厳しさを知るための「インターンシップの積極的推進」が提言されている。

「高専の知名度・評価」については

- ・ 専攻科の認知度が低い
- ・ 一般に、高専の評価は低い
- ・ 大卒に比べると不利

など、企業における高専卒の扱いに対する不満が述べられている。

「就職に向けての心構え・アドバイス」では

- ・ 英語力やプレゼンテーション能力を高めておくこと
- ・ 自分が何をやりたいか、どんな道に進みたいかをよく考えること
- ・ 会社の雇用体系などをしっかりリサーチすること
- ・ 大企業にとらわれず、長期的、総合的な選択をすること

などのアドバイスの他に、

- ・ 能力や専門が大卒より劣っていることはない
- ・ 社会に出れば、高専卒、学部卒、院卒の区別なし
- ・ ガンバレ後輩

などの応援メッセージも寄せられている。

#### 8.4 夢や悩みについて

夢や悩みは仕事面、人生・生活面にわたって多くのメッセージが寄せられている。多岐にわたるため具体的な分類は不可能であるが、やはり仕事面での夢や悩みのほうが多く、仕事面の悩みでは土木や建設業界の先行きの不安や女性の結婚・出産後の職場への復帰の困難さなどのメッセージも数件寄せられている。

#### 8.5 おわりに

本章では、専攻科修了生、本科卒業生からの要望等をアンケート項目ごとにまとめた。全体を通して、教育目標である「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材」を育成するために必要と思われる語学力、実践・創造力、技術力の向上に加え、人間性教育の大切さを述べたメッセージがほとんどであった。また、どのメッセージも母校や後輩への愛情が感じられ、5年間一貫教育のもつメリットを存分に活かした高専でしかできない教育の充実・発展を期待するものであった。この卒業生の有益なメッセージに応えるべく、学生・教職員が一丸となって、より良い高専をめざしていくことが重要であると考えられる。最後に、今回のアンケート調査に対し多くの貴重なコメントをいただいた卒業生の皆さんに心より感謝いたします。

(担当 池田)